

↑このレッスンのパワーポイントです。クリックしてお使いください。

A. お祈りの暗唱と暗記

あなたと、数人の生徒たちが始まりのお祈りをした後、前の3つのレッスンで学習中のお祈りの復習をしましょう。

B. 歌(前に習った歌の復習を含む)

Kindling the Fire of God's Love

D
In my heart

A
There is a flame

G
That God has placed

D
A special flame

A
This is the fire

G
The fire

D
Of His love

CHORUS:

D A
I will pray
I will pray (*echo voice*)

G
To God

A D A
To kindle in my heart
To kindle in my heart (*echo voice*)

G
That flame

A D A
The fire of His love

G
And I will strive

A D
That its light illumines all hearts

Day by day
I will feed this flame
As I pray

And do good unto others
This flame will grow
As I pray
And serve mankind

And as this flame burns
As it grows
It will be felt
By all who come
Its way
It will bring warmth
To all
Who come its way

CHORUS

C. 引用文の暗記

このレッスンのテーマは燃え立つということです。以下の説明文は、あなたが、このテーマと暗記する引用文を紹介するときの助けになるでしょう。

すべての人は神を知り、神を愛するよう創造されていて、私たちは皆、神の愛のきらめきを心に持っています。この神の愛の炎がますます強くなるよう、毎日神に祈り、他の人々に奉仕することによって、それを育てることが重要です。この炎が心に一層赤々と燃えるとき、その温かさは私たちと行き交うすべての人に感じられるでしょう。そして、その人々の心にも、火が着くでしょう。私たちがそのような燃え立っているとき、私たちは燃えているろうそくのようになり、それは周囲の人々に光と温かさを与えずにはいられないでしょう。以下の引用文を暗記しましょう。

おお、人々よ、他の人々の心を燃え立たせることができるように、神の愛の熱で燃え立ちなさい。 ¹²²

<燃え立たせる>

1. 部屋の中が寒かったので、アクセル君のお父さんは部屋を温めることにしました。お父さんはストーブに薪を入れ、火をつけました。薪はすぐに燃え立ち、暖かくなりました。
2. 生徒たちは科学者から宇宙の働きについてたくさんの興味深い話を聞きました。講演の後、生徒たちは科学者にいろいろな質問をしました。その女性科学者は、生徒たちに、世界についてもっと知りたいという熱意を燃え立たせました。

D. お話

トーマス・ブレイクウェルは若くして、アメリカ南部の綿織工場で重要な地位についていました。1901年の夏、休暇でヨーロッパに行く途中、蒸気船で一人の婦人に会い、精神的なことについて話しました。パリに着くと、その婦人は自分の友人のアパートにブレイクウェル氏を案内しました。その友人も同様に、精神的なことに興味があることを彼女は知っていたからです。若い女性は彼らを歓迎し、三人はしばらく話をしました。その日の帰り際に、ブレイクウェル氏はもっとお話するためにまた会いにきてもいいかと、その女主人にたずね、次の日の朝、また会うことになりました。

次の朝、その若い婦人は、ブレイクウェル氏の目が輝いていて、声は感動に満ちているのに気付きました。彼女は、腰かけるよう彼に勧めました。彼は彼女の方を一瞬じっと見つめてから、自分の不思議な経験を次のように話し始めました。昨日、あなたの家をお暇^{いとま}してから、蒸し暑い夕方の通りを一人歩きました。周囲では、葉の一枚すら動かぬほどでした。

そのとき突然、強い風が吹き、神の新しいメッセージの嬉しい知らせをもたらしたかのようでした、と。

婦人は彼に落ち着くように言いました。というのも、彼女はブレイクウェル氏の言うそのメッセージを知っていたからです。次の三日間、何時間もかけて、彼女はバハイ信教について、その教えや歴史について、そして、それらの教えの完璧なお手本であるアブドル・バハが聖地の牢獄都市アッカに住んでいることなど、知っていることすべてを彼に話しました。

三日目の終わりまでにはブレイクウェル氏の心は喜びと希望に満ち、アッカに行き、アブドル・バハに会うということ以外、何の望みもありませんでした。たまたま、もう一人の若者がこの全く同じ目的で聖地を訪れる計画を既にしていて、ブレイクウェル氏と一緒に行くことをとても喜びました。そこで、訪問の許可を求める手紙をアブドル・バハに送り、それからすぐに二人は出発しました。

二人がアブドル・バハの家に着いたとき、一つの部屋に通されました。そこには数人の男性が集まっていました。部屋を見まわしたとき、ブレイクウェル氏は途方にくれました。アブドル・バハがこれらの人々の中にいらっしゃるはずと思いながらも、そこには彼の心を惹きつける人はいなかったのです。彼は、自分にはパリで聞いたような、神々しい人を認めることができなかつたのではないかと心配しました。彼はがっかりして、座りこみました。そのとき、ドアが開き、ブレイクウェル氏は顔を上げました。輝かしい光の中から、アブドル・バハの姿が現れるのを見ました。すぐに、ブレイクウェル氏は自分の願いがかなえられたことが分かりました。

ブレイクウェル氏はすばらしい2日間をアブドル・バハのもとで過ごしました。その間、彼の心に燃え立った炎はどんどん勢いを増しました。ブレイクウェル氏が、綿織工場での自分の仕事や、その工場で子どもが労働者として働いていることをアブドル・バハに話したとき、アブドル・バハはその仕事を辞めるようにと言われました。ブレイクウェル氏は、ためらいなくその助言に従いました。訪問が終わり、パリにもどりました。彼の精神は輝いていました。彼の短い生涯の残りの期間、彼は輝くろうそくのように燃え、出会うすべての人に心に燃える光を分かち合いました。彼が亡くなったとき、アブドル・バハは彼の栄誉をたたえて書簡を書かれました。それは次のような句を含むものでした。

「おお、ブレイクウェル、わが親愛なる者よ！汝は天上の集合のランプのなかに燃え、アブハの樂園に足を踏み入れ、祝福された木の影に避難所を見出し、天国の中の天国で彼との会合に達した」

E. ゲーム: 病人の介護

子どもの一人が病人役になります。二人の子が向かい合って、右手で相手の右腕を掴み、左手で左腕を掴んで椅子の形を作ります。子どもたちの大きさや能力に応じて、椅子の作り方を変えます。その場合、両方が自分の左手で右手首を掴み、右手で相手の左手首を握ります。他の子どもたちは病人の子がその椅子に座るのを手伝います。木か何かを「健康センター」として決めておき、椅子の二人はその病人をそこへ運びます。2列の子供たちは向かい合って、右手は相手の左腕を、左手は相手の右腕をつかんで担架を作ります。大きいグループでは椅子の代わりに、互いに向かい合って二列に並んで担架を作ります。子どもたちは肘を曲げて、向かい側の相手の子どもの前腕を掴みます。それから、病人の子をその担架に寝かせて、「健康センター」へ運びます。「患者さん」を安全に健康センターまで運ぶために、皆が心を一つにして働かなければならないということ子どもたちに理解させるために、「もし、患者さんを落としたら、その患者さんは怪我をし、皆が悲しくなるでしょう。でも、患者さんをうまく運ぶことができたなら、私たちは友達を助けたので皆が嬉しくなるでしょう」と、言い聞かせます。

F. むり絵 20

G. 終わりの祈り



ひとびと
おお、人々よ、

他の人々の心こころを燃え立たせることができるように、神の愛あいの熱ねつで燃え立ちなさい。